

すわ 市議会だより

発行／諏訪市議会 編集／議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



大熊保育園運動会

9月定例会、決算審査特別委員会報告	2P
常任委員会報告、議員議案解説	3, 4P
代表質問(3議員)	5, 6P
一般質問(10議員)	7Pから
請願・陳情審議結果	11P
議案審議結果、編集後記	12P

9月定例市議会

平成21年第7回(9月)定例会が、8月31日から9月18日までの会期で行われました。今定例会には市長より、報告1件、承認1件、議案12件、認定10件、同意1件が提出され、すべて同意、承認、可決、認定されました。

平成二十年度の会計決算認定

決算審査特別委員長 守屋 陽子

決算委員会の審査は、二十年度の予算の執行が適正に行われたかを審査し、次年度への予算だてに必要なものとする。

アメリカに端を発した金融危機が世界の経済危機に及び、経済が急速に減退となりました。我が国の経済もまたたぶんにもれず景気の低迷は一層加速し特に秋からの失業者増大、不安定雇用が社会問題となり、福祉や社会保障を望む声が高まってきました。国は緊急対策として、定額給付金、子育て応援特別手当、雇用対策等打ち出し、経済の回復を最課題として新たな景気対策に取り組みしました。諏訪市でも商工業では、制度資金、利子補給、信用保証料補給、プレミアム商品券等中小零細企業への対策がなされた。建設事業では道路改良、河川の浚渫が進捗。教育面では、市内小中学校全校の耐震改修

決算審査 特別委員会人事

平成21年度の決算審査特別委員会の人事が決まり、議長を除く全議員により、下記報告のとおり平成20年度決算認定審査が行われました。

委員長 守屋 陽子
副委員長 神澤 孝昌

が終了。福祉面では高齢者、一人ぐらしの家庭に昨年から引き続き灯油券の実施がされ、また生活保護受給者の拡大がされました。

一般会計審査での主な点では①歳入の根幹である市税、法人税減収の中、健全財政を目指し進めてきた②不用額が予算の四・一％に達している。あたり前にならないように特に福祉面での「使い切り」を望む③税料の滞納については、支払いが困難なものに対しては支援し、希薄な滞納者について税の公平性を理解してもらう努力をする。④経済対策、失業対策は引き続き積極的に実施する⑤東バル跡地は早い取得と一般市民に利用されるよう⑥すわっこランド入場者は増えているが赤字も増えている。市民が納得できるよう施策を⑦指定管理者制度が進んでいるが、福祉面では市のしっかりした監視が必要⑧温泉資源エネルギー政策の面から検討が必要他消防教育、職員の件等々さまざまな審議が行われました。

一般会計反対討論は不用額は予算の四・一％八億六千八百万円余り。民生費を三億二千二百万円も残している「使い切り」をしていくこと。辻と小径、工場立地、敬老祝金、住基カード、すわっこランド、東バル跡地等市民からの反対の声が上がっており反省すべきである。賛成討論

決算審査特別委員会報告

は予算執行では事業内容に効果が出ている。健全財政を目指して進めていることに評価する。反対一名賛成十二名で認定。

国民健康保険特別会計について、反対討論は、国保税二十・四四％値上がりし市民は困っている。不況が追い打ちをかけ受診抑制も出ている。国が負担金を増すのが大前提だが、一般会計から繰り入れても税の引き下げをすること。賛成討論は国政も変ったことなので先をみていきたい。新型インフルエンザ等も考え、税の徴収にも努めていくこと。反対一名賛成十二名で認定。

霧ヶ峰リフト、奨学資金、公設地方卸売市場、下水道事業、駐車場事業、老人保健以上六特別会計及び水道温泉事業会計は全会一致で認定。

後期高齢者医療特別会計は反対、賛成の討論があり反対一名賛成十二名で認定となりました。



決算審査特別委員会

議案八件は全会一致可決。
陳情二件は不採択。

議案第四十二号諏訪市工場等立地促進条例の一部改正 「工場等」の分類を現在の日本標準産業大分類Fから新統計法大分類Eに改めるものです。

第四十三号諏訪市水道温泉事業の設置等に関する条例及び諏訪市簡易水道事業に地方公営企業法の規定を適用する条例の一部改正 豊田町石地区の水道を市営水道に加え水道会計で運営するための改正です。

第四十四号諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 救急患者の受入れ先が速やかに決まらないケースの解消の為、消防機関と医療機関の連携を推進するための法改正による条例改正です。

第四十六号長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少 上水内郡信州新町と同郡中条村が長野市に編入合併するための議会議決です。

第四十八号市道路線の認定 茅野市・諏訪市家下青木土地区画整理事業が完成し、諏訪市分の市道五路線の認定を行ったものです。

第四十九号工事請負契約 諏訪市庁舎の耐震補強工事を二十一、二十二年度の二年間で行うものです。スワテック建設株式会社が二億六千二百五十万円で落札しました。

第五十号平成二十一年度諏訪市一般会計補正予算第四号 今回の補正では第一条で歳入歳出の総額にそれぞれ二億九千四十万円を追加

し、歳入歳出の総額を百九十四億七千三百五十三万八千円とするものです。第二条は繰越明許費で子育て応援特別手当関連一千七百六十万円、第三条は債務負担行為で豊田小学校整備で二千九百八十万円、第四条は地方債でため池等整備に八百七十万円、豊田小学校校舎整備に九百十万円をそれぞれ補正するものです。主な歳入では、普通交付税六千八百七十一万円、特別交付税四千二百八十七万円、これにより二十一年度の普通交付税は十六億五千五百円あまりとなることとなりました。繰越金は二千五百四十六万六千円となり二十一年度の合計は八億五十四万六千円となりました。主な歳出では、総務費で財政調整基金積立金に一千百万円。市税還付金に九千八百六十万円。農林水産業費で、ため池等整備と森林整備に一千四百八十四万六千円。商工費で新分野進出研究開発補助金として一千万円。土木費では、耐震補強、診断に四百六十八万九千円。

第五十二号諏訪市下水道事業特別会計補正予算第一号 歳入歳出の総額にそれぞれ三百六十一万四千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ三十七億五千万円とするもので、県の流域下水道事業の前倒しに対応したものです。以上の議案は全会一致可決です。

消費税大増税をやめ、食料品など生活必需品の消費税非課税を求める陳情書について 全日本年金者組合諏訪支部からの提出です。民主党政権となり、新政権のやり方を見守る必要があるので不採択五。新政権が消費税を上

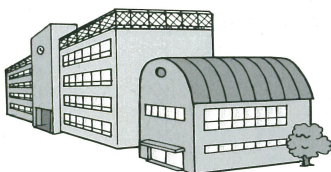
げない保証はないので採択一で不採択。家族従業員・女性の人権保障のため「所得税法第五十六条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情書について 諏訪地方民主商工会からの提出です。五十六条と五十七条は関連しており片方だけでは無理があり不採択五。一人の人間として認めない五十六条は廃止すべきとして採択一で不採択。



家下青木の新市道

教育委員会委員の
任命について

笠原 久美 氏の任命に
同意しました。



議案審査 徹底討論

第7回(9月)定例会で付託された案件の、委員会審査の内容です。

規約の一部変更、一般会計、特別会計補正予算等五件可決。付帯決議一件可決。陳情採択一件、一部採択一部不採択一件、趣旨採択一件、不採択一件。

○議案第四十五号諏訪南行政事務組合規約の一部変更 諏訪南清掃センターの経常的経費の負担割合に、ごみ処理量実績割を導入することが合意され、諏訪市には影響ない。全会一致可決。

○議案第四十七号長野県後期高齢者医療広域連合を組織する市町村数の減少について 信州新町、中条村の長野市編入、阿智村、清内路村の合併により構成市町村数の変動によるもの全会一致可決。

○議案第五十号平成二十一年度一般会計補正予算 消費者行政活性化事業費百六十二万六千円。セーフティネット支援小地域支え合い事業費百五十万円。国民健康保険会計繰出金九百三十四万七千円。共同浴場バリアフリー化推進事業費百三十七万八千円。包括的支援事業費(緊急雇用創出事業)百十八万五千円。児童遊園整備事業費千八百六十二万五千円。子育て応援特別手当費五千七百十五万円。生活保護セーフティネット支援対策等事業費、住宅手当緊急特別措置事業費二千三百十萬九千円。寄付金、奨学基金積立金百五十二万円。小中学校理科教育等設備費千百万円。緊急雇用創出事業費三百八十五万七千円。豊田小学校整備事業費千二百二十万円。公民館備品購入費百二十二万五千円。公民館分館整備費百四十万円。全会一致可決。

○議員議案第五号は議案第五十号に対する付帯決議の提出について 児童遊園の安全確保と公平性確保の基準の明確化を求めるもの。全会一致可決。

○議案第五十一号平成二十一年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算 平成二十年度の療養給付費の精算により、国へ返還金六百八十三万二千元。高額療養特別支給金二十四万円。全会一致可決。

○議案第五十三号小中学校校務システム機器等の購入について 小中学校の教職員用パソコン購入一億千八百六十五万円。全会一致可決。

○陳情第三十六号私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書について 私立高校の厳しい状況から採択。中信地区の私学だけに助成することは公平性に欠けるので趣旨採択の討論あり趣旨採択に賛成五で趣旨採択。

○陳情第三十七号消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める意見書採択を求める陳情書について 国民の老後の生活を支える上で必要であり採択、陳情の内容に精査が必要として、不採択の討論あり、採決の結果採択一、不採択五で不採択。

○陳情第三十九号ヒブワクチンの早期予防接種化等を求める陳情について ヒブ感染者は五歳までの乳幼児に多く、五%は死亡、二十五%が知的障害者、聴覚障害の後遺症が見られる。予防ワクチンは安全性も効果も高く、定期予防接種必要の討論があり、採決の結果全会一致採択。

○陳情第四十号肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情について 高齢者で肺炎の死亡

率が高く、治療が困難、ワクチンは八十%予防でき効果は五年間継続する。国の制度の確立と条件整備が必要。採決の結果全会一致一部採択一部不採択。

議員提出議案 〈付帯決議〉

児童遊園設置事業(上川二)について議会意見を付帯(全会一致)可決

○平成二十一年度諏訪市一般会計補正予算(第四号)が全会一致で可決されましたが、その内、児童遊園設置事業については、設置することに異議ないものの、多くの疑問、心配、要望が出されました。特に設置場所の安全に心配があること(水路、道路など)、市が私有地を買い上げて整備する異例の対応について市民の皆様への理解をえられるのかは大きな課題です。今後の事業実施にあたって、これらの意見が反映され、児童の安全」と「行政事業の公平性」が確保されるよう①安全確保に最大限の措置を講じること②児童遊園設置の取扱基準を明確にすることの二点を求めました。

議員提出議案 〈意見書関係〉

○ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める意見書 ……(全会一致)可決

ヒブウイルスなどの感染による細菌性髄膜炎は早期診断や治療が難しく、日本でも年間千人近くの子どもが罹り、死亡や、後遺症に苦しんでいます。子どもたちを救うために効果的なヒブワクチンの定期予防接種化等を求めて、意見書を国及び関係行政庁に提出しました。

○高齢者の肺炎球菌予防接種への公費助成等に関する意見書 ……(全会一致)可決

高齢者の健康増進のために、肺炎球菌ワクチンの予防接種について予防接種法上の取扱いを検討するとともに、高齢者に対して公費助成制度を設置することを求め、意見書を国及び関係行政庁に提出しました。

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。
掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。

リニア中央新幹線の行方



新政会
三村 睦雄

問 行政として約二十年間に渡り、商工団体、観光団体と共に、圏域のリーダーとして、Bルートの実現の為に行動をして来たと思います。これからは市民の合意形成を得る点から、難しい局面を迎えると思いますが、どう考えか、ご所見を。

答 商工会や議会の皆様には、県への要望や、期成同盟会の活動など積極的に取り組んで頂いて感謝しています。地域の皆様にも陰ながら応援頂いているものと思います。これから県下一本となつて、リニア建設の促進を図る必要があります。県下がバラバラにならないように、県が音頭を取るよう要望する。

問 これまで県知事、県議会、国交省、他要望して来た感想は。

答 昨年の要望時には、知事からは、JRからのコンタクトがあればBルートを伝えていきたい。県議会からは南北の交通格差の解消に協力したい。国交省からはルートは国が決めるもの

で一企業が決めるものではない。との言葉を頂き安心した。また、本年ボイス81の席上に於いても、知事はBルートにまとめて来た長い経過についてこちらの考えを伝えて行きたいとの回答を頂いている。県の市長会でも、意見を統一することはできませんでしたが、今後もBルートの働きかけを続けていきたい。

問 Bルートを実現するという事について、具体的にこの地域に駅を願っているものと思うが、どの様に考えるか。

答 Bルートの誘致が最優先。今はまとまってBルートを色々な所へ働きかけることが大切である。その前に設置場所をめぐり地域間が対立することは好ましくない。誘致は民間で進め県が主体となつて調整を願う。

問 Bルートの重要性は、諏訪圏域ばかりでなく、長野県北部、またその先に位置する北陸圏域の大動脈を、首都圏、中京圏につなげる為にも重要なポイントと考える。このことを強く訴え、県全体の意思統一を図り、国家プロジェクト、国への関与を大きく飛躍して頂く為に、Bルート、そこに位置するリーダーとして、先頭に立って動いて頂くよう望みますが、ご所見は。

答 リニア建設は大都市間を結ぶ効率性だけでなく、地域振興の観点も必

要と考える。将来の高速交通網のあり方として大きなプロジェクトであり、中央高速が諏訪廻りになつて長野に伸びたように、将来のリニア網としてBルートの必要性を訴え味方を増やして行きたい。

問 Bルート要望の為に、諏訪の熱意を現して行く為にも、改めて広報活動に力を入れて頂きたい。圏域役所に懸垂幕、圏域ICに看板の設置など如何か。

答 商工会議所で看板設置の動きがあると聞いている。お話を伺いながら相談したい。民間でおいにアピール頂きたい。

問 Bルートが、圏域を通過することによる経済効果を、どのように見るのか。今後市民の合意形成を得ることからも、その掌握は必要ではないか。

答 データの掌握も必要があるかもしれない。県として対抗できるものを出すことも大切であり、県の方へ上げて行きたい。

問 これまでJRより説明を受けるのみの立場で来た。これからは対抗できる資料、づくり等県を挙げてと思う反面JRを味方にする様な取組も必要では。

答 私どものホームページの掲載の見解や主張も分つてもらえるよう努めることも大切、知事にもどこかで説明してもらいたいと思つて要だと思つて



JR東海「中央新幹線」パンフレット2005.7より

いる。

問 最後に、JRが目指す開業年度まであと十六年、非常に短いものと思う。県の総意としてBルート、丁度そこに位置するリーダーとして大きな経済効果確保の為に、真剣に取組むことは当然のことと考える。我々の先頭に立って努力されることを願う。

八・八局地豪雨災害の検証と、これからの安全なまちづくりについて



市民クラブ
宮坂 勝太

問 今回の災害の原因は。

答 予測できなかった一時間百二十ミリという局地集中豪雨が原因。

問 今後同様の災害をおこさない為の対策は。

答 西山一帯は急傾斜の山が多い、県と協力し土砂崩落防止を設ける。

問 今災害の被災状況から、移動し易い車も水没した。降り始めてから早い時間に警告はできないか。

答 大雨、洪水時等の警報は防災無線で周知しているが、市民からの情報提供システムが機能するようにし、対応したい。

問 避難場所を西中としたが大熊区民は危ない小田井沢川を越えて行か

なければならぬ。こうした位置関係の設定はどうか。

答 小田井沢、唐沢川等が県道部で氾濫している状況であったが避難勧告時点では旧道等の被害は小さく西中への避難は可能と判断した。

問 避難施設に派遣された職員は事前に仕事の説明を受け自分の仕事を良く理解していたか、又責任者を設けてあったか。

答 避難施設に関して九月二十九日職員訓練を実施し勉強したい。

問 今回のような局地型災害の場合、市役所に設置した対策本部とは別に現場近くに現地対策本部を設ける事が、より早く適切な対応がとれると考えるが。

答 状況を観て検討したい。

問 小田井沢川などの天井川改修工事に手が着いていなかったら大惨事となった。地域の皆さんは工事の必要性を十分理解していたか。

答 説明してあり理解されている。

問 工事は渇水期に行えないか。

答 工期が長くできなかった。

問 今回の災害は小田井沢、唐沢、権現沢川が土砂で埋まり溢れた水が新川の堤防でせき止められ多くの床上、床下浸水となった。非常時排水できる水門を新川に設置したらどうか。

答 むずかしいと思う。別の対策を検討したい。

問 農業関係で土砂の流入した水田、崩れた畑の復旧に支援をすべきと思うが。

答 早急に要望を確認して補助金を取り入れて支援したい。

問 災害ボランティアが定着してきた。被災者の中には来て当然と思う人がいる。奉仕と感謝の関係が損なわれて来たと思うがどうか、又ボランティアセンターとの関係はどうであったか。

答 早い時点で社協とよく打合せをし綿密な連絡をとりたい。ボランティア側、受け入れ側について問題点を検証したい。

問 新川改修は計画通り進んでいると思うが今回の災害を考慮して河川の合流点上流まで川幅を広げる必要はないか。

答 県に働きかけたい。

問 新川バイパスの先のルートを早く示すことができないか。

答 砥沢川上流の改修計画が決定した後ルートを決めたい。

問 交通量の多いサンリツツロードの冠水対策は。

答 河川占用物件の橋を県道改修時に合わせて改修したい。緊急対応として県と協議し通行止めにする。

問 三年一カ月前の十八年梅雨前線豪雨での対策について四点を問う。御蔵溝の水門の位置、排水管の逆流防止、水門樋門に緊急時の連絡先明記、排水版の位置。

答 検証して改善をする。

問 武井田川鴨池川に立派な水門ではきたが排水ポンプが無い。

答 諏訪湖のタイムラグがある。県は必要ないと言っている。有事の際は県のポンプ車を配備する。

問 他、市安全対策として四件問う。

答 善処したい。



土砂の排出作業(新川団地)

八・八災害は人災の部分があるのでは。災害を防ぐ対策。一万円の見舞金では見舞にならない



日本共産党
諏訪市議員 藤 森 守

問 八・八局地豪雨災害の復旧、救援に努められた、市・県当局、業者、多くのボランティアの皆さんに御礼申し上げます。ありがとうございました。特定の地域に大量の雨が降るゲリラ豪

雨だった、人災の部分があるのでは。

小田井沢、唐沢の県道に架かる橋は天井川解消の工事が終了しているのに、橋に土砂がからみ、橋を乗り越えた大量の土砂が新川団地、水戸代団地などに流入し、新川も決壊した。被害はさまざま、床上浸水一・四二メートルに達した家を初め、床上浸水百九戸、床下浸水二百五十四戸となった。安全と思われた場所が被害発生源となった。地元住民は人災だと思っている。

答 河川改修は三十年確率で設計。想定外の雨量だった。

問 水戸代団地の排水ポンプは五月から外されていた。責任はどこにあるのか。

答 その時、そこにポンプがなかった責任は市にあります。

問 南真志野の西沢は三年前に続き被災した。県の新川改修の遅れが被害を生んだ。これは人災だ。

答 工事が進まなかったのは事実。声が小さかったと言われればそのとおり。

問 小田井沢、権現沢で出水期のこの時期に工事が行われた事は問題。工法も十分に安全確保されなかった疑いがある。これこそ人災だ。

答 仮設排水パイプを設けたが土石流は想定外。工事方法は地元へ説明してきた。

問 新川は砥沢川から上流で決壊した。砥沢川から権現沢間の改修が必要だ。県と改修で合意しているか。

答 村井知事には理解していただいている。

問 災害を繰り返さない為に、新川の河床を低く広くすること。その為に新川の下を抜けているサイフォンを太くし、位置も低くすること。サイフォンの先の武井田川、鴨池川の工事再開を。

答 県の河川改修計画で対応したい。

問 被災者は家の修理、失った家財など大変な困難に直面している。一万円の見舞金ではあまりにも少ない。岡谷市なみの三十万円出してほしい。

答 岡谷市は特例としたが、市は要綱どおり。

問 見舞金は、工場や店にでないのはおかしい。

答 考えたい。

問 農地復旧へ市の独自配慮を。

答 検討課題。

問 国に局地災害に対する法律の整備をするよう働きかけを。

答 文書で上げたい。



新川団地の浸水状況

市政のここが聞きたい

一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。

九月定例会では十人の議員が各方面にわたって質問を行いました。

掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。

一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。

八・八局地災害について。空き家の活用対策について。諏訪大社御柱予算について。



神澤 孝昌

問 今後八・八局地豪雨災害のような災害が予想される。十八年の豪雨災害の教訓は生かされたか。

答 十八年七月豪雨災害は激特事業として河川水路の改修、既設ポンプの更新、道路の嵩上げ等行っている。

問 優先的に進めている災害防止事業は。

答 護岸の弱い所の改修、河川改修工事五年をかけて内水排除ポンプの更新する。治山関係では、何基かの砂防堰堤が計画されている。更に県にお願いしていく。林道については市単で復旧する箇所は工事に入っている。農地については、補助を受けても自己負担金が生じる事もある。自力復旧につ

いては、十八年の災害の例にならって必要な原材料等支給する。

問 空き家の把握は。

答 空き家の数は把握できていない。

問 空き家物件をホームページで紹介し情報提供システムを独自に創設しては。

答 空き家などは不動産業者からの情報提供で紹介するのが効果的。県では公式HPに「信州田舎暮らしのページ」を設け相談に対応している。当市では、空き家等希望される方には要望の内容により対応する。

問 諏訪大社御柱に伴う市の予算とかかわりは。

答 全国から百八十万人を集める大祭見物客消費額は百六十億円とも言われ地元消費も加えると大変な数字。

問 小宮祭での地域との関わりは。

答 小宮の御柱祭へ多くの方に来てもらう事を一つのターゲットにした。小宮祭誘客対象は、当市五社。



御柱体験広場

諏訪市健康づくり計画「健康すわプラン二十一」、諏訪湖上火火大会、近所の助け合いを再生・強化。



水野 政利

問 「健康すわプラン二十一」の推進状況と市長の所感、今後の課題は。

答 目標達成施策に基づき推進している。計画の最終年の来年度に取りまとめを行い、新計画策定に向けて検証を進めたい。新計画では、市民向けアンケートを健康意識調査と合わせて実施し、実効性のある計画にしたい。

問 市民検診の受診率が向上し、平成十九年度は八十一・六%で、県下で一番高くなった。また三歳児までが対象の赤ちゃん訪問はほぼ百%の訪問率を達成。各種のガン検診の受診率の

向上と、「一人の命を地域で診る」をテーマに、病院診療所、介護が連携し、それぞれの特徴を生かした医療資源を持ち寄り、地域完結型医療を地域住民に提供する事が今後の課題。

問 山間地域医療の実績効果のデータの集積記録は。

答 地域の方々の健康の為に、今後どんなデータの蓄積が可能か、先生にお聞きする中で、行政として蓄積して行きたい。

問 諏訪湖上花火大会の経済効果は。

答 昨大会の調査依頼した結果、直接の経済効果は三十六億千万円、県全体は五十八億七千万円。今年も同程度と推定している。

問 近所の助け合いを再生・強化する為の諏訪市の実態は。

答 市社協の有償オレシサービスは、年間七、八百件の利用があるが登録数が少なく、広報活動強化して地区の支え合い第一で、それを社協が補っていく。



湖上花火大会

花火大会の総括と、 原田泰治美術館への 指定管理者制度導入について



今井 愛郎

問 花火大会の総括を。

答 トイレの使用不能・駐車場問題・雑踏警備等、課題もあるが、花火大会としては、かなり完成度が高まってきたと思う。

問 駐車場待ち・路上駐車等の車両対策は？

答 駐車場の有料化も方策の一つだが、根本的な解決策になるかは不明である。有料化・広域連携を含め、引き続き最善策を検討したい。

問 雑踏警備への消防団員の配置について？

答 団員の本来業務ではない事を、重々承知しているが、団員の協力なしに花火大会は運営できないので、今後とも出動をお願いしていきたい。

問 原田泰治美術館への指定管理者制度導入の目的は？

答 平成十年の開館時は十三万人前後の入館者があったが、現在は六万人余。入館料で施設維持費が賄えなくなってきた中で、税金からの繰出しを少なくする為にも、民力の活用を期待して同制度の導入に踏み切った。

問 問い合わせ状況は？

答 説明会には県内外から八社の参加があった。

問 利用料金制（入場料を市に繰り入れず管理者の売上とする方法）を導入した場合の損失補填の考えは？

答 災害等で開館が出来ない場合を除き損失補填はしない。また契約は長期間になるが、管理料については毎年の見直しを行う。

問 今後、市内他施設への指定管理者制度導入の予定は？

答 現在のところ、霧ヶ峰リフト以外への同制度の導入は考えていない。



原田泰治美術館

県立高校再編で 論議されている 中高一貫校への考えは



小口 和雄

問 県立高校再編で論議されている中高一貫校への考えは。

答 高校再編計画の魅力ある学校づくり、規模と配置適正化のなかで検討されてきた。東北信と中南信に一校ずつ、併設型中高一貫校の設置方針を示している。メリットでは弾力的、系統的な教育課程の編成、個性伸長、学力向上が期待される。諏訪地方では、市町村教委や学校関係者らで研究委員会を組織し、高校教育のあり方を検討するようになっていく。

問 県内不登校児数の割合が全国最多。背景や原因をどう見るか。

答 原因についてははっきりしないが「人間関係や家庭内の問題などさまざまな要因が考えられるが、理由が特定できない事例が増えている。」という。市内の実態は昨年度後期から減り小学校五人、中学校十四人。いずれも前年度を下回っているが、今年度増える可能性もある。

問 信州温泉博覧会ズーラは宣伝不足なのかいまひとつパツとしない。

今年集客見込みは。

答 六市町村に広げて二十三日間開催。七十五プログラムを用意し、定員の六割になる千六百人の誘客が目標。地域住民の意識も高めたい。

問 諏訪の長い夜の総括と来年への課題は。

答 今年は七月二十四日、二十五日の二日間昨年より三割多い一万三千七十人の参加があった。夏のイベントとして定着してきた。各施設への意向調査を行い、十月末までに来年度の方針を決めたい。



ズーラのプログラム例

水道事業について 安全でおいしい水道水について 老朽管の更新計画について



里見 貞幸

問 安全でおいしい水確保のため、水源の実態や使用世帯など水道事業については。

答 大正十三年の上諏訪町上水道事業で水源二ヶ所と茶臼山貯水池を整備し、高度成長期の需要の高まりで水源開発、配水池増設など第六次まで拡張。茅野市に水源を求めた新井浄水場の完成で安定確保が図られた。近年は茶臼山配水池の耐震工事など維持が主要。普及率は昨年度末で九十九・八％。昨今は節水や景気悪化で使用量は落ちている。

問 老朽管の更新計画はどのような状況か。

答 排水管総延長距離は三十四万九千七百メートルで、敷設替えは耐震性に

劣る部分を優先し、計画的に行っている。

問 水道水の滅菌方法は。

答 水道法基準で端末の蛇口において残留塩素濃度〇・一ppm以上と規定。市の上水道においては水質が良いため、ろ過や脱臭等の浄化処理は必要なく、原水に次亜塩素ナトリウムで滅菌するのみで給水している。

問 水道料金は現行を維持できるか。

答 一般家庭で月三十㎡、三千百三十五円と県下十九市で最安。二〇〇四年度に料金改定し、黒字が続いているので、直ちに値上げの必要はないが、使用量の減少が続けば料金収入の低下から検討する時期が来るかもしれない。



新井浄水場

八月八日局地豪雨災害の復旧、 新川上流部の改修、森林整備、 自主防災組織の拡充を早急に



高林 徳枝

問 二〇〇六年七月豪雨災害、今回の八月八日局地豪雨災害と二度にわたり地元として体験した。復旧工事に併せ新川上流部の早期改修と森林整備はもとより平時の備えこそ重要。各地区の自主防災組織は有事に機能を発揮できる体制にあるのか。

答 日頃からの防災意識、心構え、準備などに大きな地域差がある。組織は七十九地区にあり、それぞれ防災マニュアルを作成。未設置地区には働きかける。

問 諏訪西中の避難所では市職員の司令塔不在で病人の対応や配備品の手当などに支障が出た。対応の検証とそれを踏まえた避難所運営訓練が必要では。

答 責任者だけでなく携わる職員が役割を学習しておく事が大切。研修を徹底したい。

問 防災には山林整備が不可欠。国や県の制度を活用して積極的に取り組むべき。それぞれの制度は殆ど時限付きのものなので事業化のためには早急な対応が肝心。市として啓蒙や指導が必要では。

答 地区から要望があれば研修会、勉強会に出向く。

問 県の「信州の森林づくりアクションプラン」によると今後約十年間で民有林の間伐すべき森林は、すべて手入れするとしているが諏訪市としての短期、長期プランと、ビジョンは。

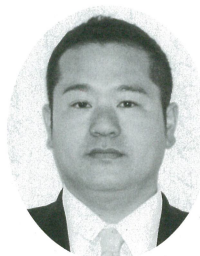
答 諏訪市としての十年計画がある。

問 森林税の活用を促進したいが二十年度諏訪市分の収支額は。



小田井沢川上流部状況

諏訪湖浄化対策と 多自然川づくりについて



横山 真

問 ヒシ取り大作戦の市長の感想と今後の活動についての対応は。

答 本事業の目的である、諏訪湖浄化に向けて市民の皆さんにヒシをと

ることができ、所期の目的は達成できたものと考えている、今後は成長したヒシが湖底に沈む前に、再度市長参加によるヒシ取り作業を実施し、成長したヒシの除去作業を市民と共に検証したい。

問 八月二十日開催のボイス81で知事、首長との意見交換の内容は。

答 ヒシ取り船等による効率的なヒシの除去に加えて、県はシミュレーションでは効果がないと説明されてい

る、釜口水門の下段放流についても再度お願いしました。

問 県の雇用創出事業を受けての取り組みは。

答 刈り取ったヒシの処理について建設事務所より湖周の市町に依頼があり、当市では堆肥化処理を前提に処理を検討しております。

問 これからの目指すべき川づくりの方向性と推進は。

答 河川は、開放感あふれる空間であり、人々のやすらぎや憩いの場、河川の特性を生かした環境を保持し、地域景観を守っていく為にも、地域の皆様に維持管理をお願いしていく。

問 近年の被害を受けてのインフラ整備や二十号バイパスの必要性は。

答 今回の八・八局地災害も含め河川改修やそれに伴う整備が必要になる。バイパス促進は、どの様に示されるのか、国の動向を見極めながら検討していく。



目指すべき川づくりの方向性は

災害に強いまちづくり対策及び
新型インフルエンザ対策と健康
増進に積極的な取り組みを！



山田 一治

問

市民満足度調査の結果を踏まえ、災害に強いまちづくり対策要望①新川流入河川氾濫防止対策②浸水地域の対応③県事業の前倒し要望④市道整備

答 災害拡大防止のため河川改修や浸水の懸念される河川護岸の老朽化部分の改修と浸水地区排水ポンプの取替補修を順次進めている。県事業の前倒しについては、新川改修事業の進捗状況を見て進める。交通安全面では、道路環境整備と信号機の設置を強く要望してゆく。

問

医療の充実と健康増進について、新型インフルエンザは九月ピークを迎えると聞くが対策は。

答 国、県からの情報を受け関係機関と連絡会議を設け、市対策本部から防災無線等で情報を提供している。

ワクチンなどはハイリスク群の三百万人が必要とされており、安全性の確保や優先順位が課題となっている。情報を待ち、慎重に対応したい。

問

市民検診の内容充実対策は。

答 諏訪市の検診率は高く、今後一層市民の要望に応えられるよう内容の充実を図りたい。検診内容について

は、健康推進課に相談してほしい。

問 国政総選挙の結果を受け、市長はどう受けとめているか。

答 予測は難しい、税金の無駄遣いをなくし無駄を生むシステムを見直す姿勢は歓迎したい。経済対策で既に決まっている事業等は、必要性を主張し推進を求めている。二十号バイパス等



権現沢川崩落現場

災害時の要支援者避難支援、

子育て子育ての社会化と

NPO育成



有賀 ゆかり

問

災害時の要支援者の把握状況は。

答 市の台帳は完備。八・八水害でも有効に機能した。各自主防災組織の状況は様々で、先進地区をモデルに推進。個人情報取扱いが課題。

問

新川団地の障害者対応住宅への避難支援は。

答

消防団などと連携し避難支援ができた。

問

福祉避難所の設置状況、体制づくりは。

答

五か所を指定しており、物品や人員配置、移送手段を検討している。

問

指定避難所の西山の里が浸水したが、立地の再検討も必要。セカンドチョイスも事前検討しておくべき。

答

検討していく。

問

学校体育館が避難所となる場合、保健室、調理室など学校施設が適時に有効利用ができるよう災害時使用をルール化すべき。

答

学校職員が必ず避難所に入って対応する。

問

諏訪市の子育てビジョンを明文化して示すべき。

答

すわつ子プランがビジョン。

問

子どもたちの現実を知るため継続的な生活実態調査・意識調査が必要ではないか。

答

必要性は感じる、取り組んでいく。

問

子どもの過剰なメディア接触から身体能力、対人関係能力など多様な問題が出ているが、社会的取り組みができないか。

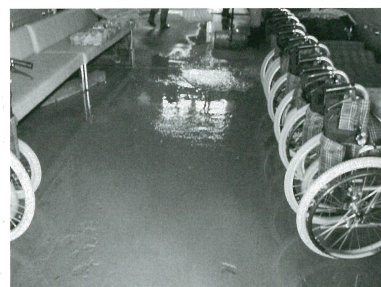
答

社会共通認識を持つため啓発していく。

問

子育て子育てを社会全体で取り組むにはNPOの育成・支援が必要。遊休公共施設などを活用して、公民協働の拠点となるようなNPO活動セン

ターを設置しては。
課題として検討する。



浸水した西山の里

公民館使用料について 国民健康保険について



守屋 陽子

問 公民館の目的は？

答 地域住民のための教育、学術、文化に関する事業、教養の向上、健康増進、生活文化などの振興に寄与する。

問 公民館の役割は？

答 地域住民の自治能力を高め生活課題、学習意欲を把握し、援助していく。

問 五館の登録サークルの数は。

答 中央、豊田、湖南、中洲、四賀で百五十五。登録されていない五十団体。

問 どのサークル、団体も活発な活動を通して人間形成、助け合いなど成果をあげている。二十二年四月から無料だった公民館使用料を有料にするとしているが。

答 規程の半額をいただく。

問 無料ということで、公民館を利用して活発な活動になっている。当面登録サークル百五十五団体は無料にすべき。平等からしても登録サークルのみ無料にできない。

問 行政改革の一端として行う、百七十万円無駄使いを検討して下さい。使い勝手の面でサービス改善に努めたい。

問 国保について、税の二十・四四％は苦しい。引き下げを。

答 滞納解消ができれば値上げしないでやっていく。

問 一世帯一万円の引き下げを

答 動向を見定めていきたい。

問 無保険者の実態をつかみ、医者にかかれぬ人がないよう。隙間にいる方は把握しようがない。



公民館活動

9月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請 願 ・ 陳 情 内 容	提 出 者	採 決 結 果
陳 情 第 36 号	私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書	中信地区私学助成推進協議会 会 長 笠原 真美	趣旨採択(多数決)
陳 情 第 37 号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める意見書採択を求める陳情書	全日本年金者組合諏訪支部 執行委員長 今 井 進	不採択(多数決)
陳 情 第 38 号	「消費税大増税をやめ、食料品など生活必需品の消費税非課税を求める」政府への意見書を求める陳情書	全日本年金者組合諏訪支部 執行委員長 今 井 進	不採択(多数決)
陳 情 第 39 号	ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める陳情	長野県保険医協会 会 長 鈴木 信光	採 択 (全会一致)
陳 情 第 40 号	肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情	長野県保険医協会 会 長 鈴木 信光	一部採択一部不採択 (全会一致)
陳 情 第 41 号	家族従業者・女性の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情書	長野県商工団体連合会婦人部協議会 会長 小野百合子	不採択(多数決)

9月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第42号	諏訪市工場等立地促進条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第43号	諏訪市水道温泉事業の設置等に関する条例及び諏訪市簡易水道事業に地方公営企業法の規定を適用する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第44号	諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第45号	諏訪南行政事務組合規約の一部変更について	可決（全会一致）
議案第46号	長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少について	可決（全会一致）
議案第47号	長野県後期高齢者医療広域連合を組織する市町村数の減少について	可決（全会一致）
議案第48号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
議案第49号	工事請負契約をするについて	可決（全会一致）
議案第50号	平成21年度諏訪市一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
議案第51号	平成21年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第52号	平成21年度諏訪市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第53号	小中学校校務用システム機器等の購入について	可決（全会一致）
認定第1号	平成20年度諏訪市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第2号	平成20年度諏訪市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第3号	平成20年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第4号	平成20年度諏訪市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第5号	平成20年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第6号	平成20年度諏訪市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第7号	平成20年度諏訪市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第8号	平成20年度諏訪市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）
認定第9号	平成20年度諏訪市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第10号	平成20年度諏訪市水道温泉事業会計歳入歳出決算認定について	認定（全会一致）

議会の傍聴にお出かけ下さい ～次回の定例会は12月です～

詳しい日程については議会事務局へお問合せを。（☎0266-53-0261）

また、LCV13チャンネルで、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議生生中継を行っていますので、ご覧ください。

車椅子での傍聴を希望される方は事務局でご案内いたしますので、お気軽にお越しください。

編集後記

短い夏が終わったかと思うとあつという間に、そろそろ冬支度が気がかりです。

今年の夏は、景気の底が見えない中で局地豪雨による大きな災害にみまわれ、国政にも激震が走り、決して忘れることのできない夏となりました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

治療薬や先端医療よりも日頃の生きいきとした生活や健康管理が長寿をもたらすように、安心安全のまちづくりや産業振興も、基礎体力や免疫力のアップが欠かせないと感じます。

山も湖も里も人も、ともに健康で持続可能な諏訪市を目指して、きちんと情報をお伝えし、皆さまの声を受け止められる議会であるよう努めて参ります。

議会だより編集委員会

委員長 平林 治 行
副委員長 有賀 ゆかり
委員 横山 真
委員 高林 徳 枝
委員 三村 睦
委員 守屋 陽 子